



おお 札守 りの恐 ろしさを ご存知 ですか？

発行所 晓鐘編集室

〒167-0042 東京都杉並区西荻北5-4-3

連絡先

氏名

TEL

あなたが持っている
お守り・お札には
“本当に効力がある”
と思っていらっしゃいますか？



もちろん、世の中の現実を見てみれば、お守りをついているからといって、事故に合わないなどという事ではなく、学業成就のお守りを買って、受験に合格できそうもない人達が合格した、という事はありません。また、商売繁盛のお札で本当に商売が繁盛するなら、倒産する企業など無くなってしまうべきでしょう。

やはり、実際には効力など無いことは誰にでもわかっていると思いますが、それでもお守りやお札を求めてしまうのは、不安多き人生を”何とか幸福に生きていきたい”という願いから行なう、ひとつの気休め、縁起かつぎにすぎません。



お守りやお札を持っていると、幸せになるどころか、かえって災いの元となってしまいます。

これらを発行している神社・仏閣の側では、信仰心というよりも、これを定期的な収入源と考えて、お守り・お札を1年毎に焼却させ、新しい物に買い替えさせたりしていますが、まったく呆れた話であります。

さらに、問題なのは、それらのお守り・お札が神社・仏閣で**祈祷**されていることです。これによって、お守り・お札は単なるマスコットではなく、その宗教の本尊（宗教における礼拝の対象）に準ずるものになってしまいます。

そして、これを大切に所持し、祀^{まつ}つたり貼^はつたりしていると、そこに**感応**（本尊からの影響を、生命に受けること）の働きが生じ、本人も気づかないうちに、その本尊に具わる教えや性質が自分の生命に入り込んでいます。



最初はわからないかもしれません、蛇や狐、竜神や不動など、人に非ざる畜生や邪神の影響を受けることにより、やがて人間としての正常な判断力が失われたり、心のバランスが崩れしていくことになります。

甚だしい事例としては、蛇のお守りに感應してしまった人が、蛇憑きとなって、蛇のようにうねり出したり、狐を祀った神社のお札を貼っていた人が、狐憑きとなって跳ね回などの、いわゆる憑依現象がおきることすらあります。



間違った宗教のお札やお守りを所持していると、幸福どころかかえって人生に災厄を招き寄せることがあります。

現に、私達の周囲を見回しても、家中に神札を貼っているような家庭ほど、不祥事が絶えない、という例が多く、また、初詣などで、交通安全祈願に行った帰りの自動車事故が非常に多いのです。これらの事実は、お札やお守りが、ありがたい物どころか、様々な不幸を生み出す恐ろしい物である証拠です。